

全問マークセンス方式／本学2会場+地方8会場（札幌・仙台・新潟・長野・静岡・名古屋・大阪・福岡）で実施

A日程(全学部統一)

出願期間 (消印有効)	令和8年1/5(月)～1/22(木)	試験日	3教科型 2/2(月) 最高得点科目重視型 2/3(火) 学部学科特色型 英語外部試験利用型 2/4(水)
合格発表日	2/14(土)	入学手続期間 (消印有効)	【第1次】2/14(土)～2/19(木) ◆入学金のみ納入 【第2次】2/23(月)～3/6(金) ◆手続書類提出および学費等納付金納入 ※V方式・A日程合格者は、第1次手続完了後、第2次手続を必ず行う必要があります。第1次・第2次手続の両方を所定期間内に完了していない場合、本学への入学は認められません。

◎ 2/2(月)：3教科型 均等配点 バランスよく得点できる方向きの入試です。

◎ 2/3(火)：最高得点科目重視型 最高成績科目の偏差値を2倍 得意な科目を活かしたい方向きの入試です。

学部	学科(専攻)	1時限目(60分)	2時限目(60分)	3時限目(60分)
文	日本文	国語 100点【必須】 現代の国語・言語文化(近代以降の文章 40点、古文40点、漢文20点)	選択科目(出願時に選択) 100点【必須】 以下から択一 日本史:歴史総合・日本史探究 世界史:歴史総合・世界史探究 公民:公共、政治・経済 数学①:数学Ⅰ、数学A(図形の性質・場 合の数と確率) 数学②:数学Ⅰ、数学A(図形の性質・場 合の数と確率)、数学Ⅱ、数学B(数列・ 統計的な推測)、数学C(ベクトル) ※経済学部は、1時限目で「理科」を選択 する場合、2時限目は「数学」のみ選択 可能。 ※数学を選択する場合、文・神道文化・法 学部は数学①、経済・観光まちづくり学 部は数学②を選択。人間開発学部は 数学①・数学②のいずれかを選択。	外国語 100点【必須】 ＜英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ＞
	中国文			
	史			
	外国語文化			
	哲			
神道文化	神道文化	現代の国語・言語文化(近代以降の文章 [必須]70点、近代以降の文章・古文・漢 文[択一]30点)		
法	法律（法律 法律専門職 政治）			
経済	経済	国語または理科 (出願時に選択) 〈国語〉 現代の国語・言語文化(近代以降の文章 [必須]70点、近代以降の文章・古文・漢 文[択一]30点) 〈理科〉 試験当日に以下3科目から1科目選択 ・物理(物理基礎+物理) ・化学(化学基礎+化学) ・生物(生物基礎+生物)		
	経営			
人間開発	初等教育			
	健康体育			
	子ども支援			
観光まちづくり	観光まちづくり			

※試験科目は、3教科型および最高得点科目重視型ともに同様です。

◎ 2/4(水)：学部学科特色型 学部学科独自の判定方法

※英語外部試験利用型との併願はできません。

学部	学科(専攻)	1時限目(60分)	2時限目(60分)	3時限目(60分)	
文	日本文	国語 100点【必須】 現代の国語・言語文化(近代以降の文章40点、古文40点、漢文20点)	選択科目(出願時に選択) 100点【必須】 [史学科以外] 以下から択一 日本史:歴史総合・日本史探究 世界史:歴史総合・世界史探究 公民:公共、政治・経済 数学①:数学Ⅰ、数学A(図形の性質・場合の数と確率) 数学②:数学Ⅰ、数学A(図形の性質・場合の数と確率)、数学Ⅱ、数学B(数列・統計的な推測)、数学C(ベクトル) ※経済学部は、1時限目で「理科」を選択する場合、2時限目は「数学」のみ選択可能。 ※数学を選択する場合、文・神道文化・法学部は数学①、経済・観光まちづくり学部は数学②を選択。人間開発学部は数学①・数学②のいずれかを選択。 [史学科] 以下から択一 日本史:歴史総合・日本史探究 世界史:歴史総合・世界史探究	外国語 100点【必須】 ＜英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ＞	
	中国文				
	史				
	外国語文化				
	哲				
神道文化	神道文化	国語 100点【必須】 現代の国語・言語文化(近代以降の文章【必須】70点、近代以降の文章・古文・漢文[択一]30点)			
法	法律 法律専門職 政治				
経済	経済		国語または理科 (出願時に選択) 〈国語〉 現代の国語・言語文化(近代以降の文章【必須】70点、近代以降の文章・古文・漢文[択一]30点) 〈理科〉 試験当日に以下3科目から1科目選択 ・物理(物理基礎+物理) ・化学(化学基礎+化学) ・生物(生物基礎+生物)		
	経営				
人間開発	初等教育				
	健康体育				
	子ども支援				
観光まちづくり	観光まちづくり				

[学部学科特色型の判定科目数・判定方法]

学部	学科	判定科目数	2倍換算の科目	判定方法
文	日本文	3	国語	3科目の合計で判定
	中国文	3	選択科目・国語	
	外国語文化	3	外国語	
	史	3	選択科目	
	哲	3	国語	
神道文化		2※	—	国語は必須とし、外国語・選択科目の上位1科目との2科目で判定
法		2※	—	上位2科目で判定
経済		3	成績上位2科目	3科目の合計で判定
人間開発		3	成績上位2科目	3科目の合計で判定
観光まちづくり		3	選択科目	3科目の合計で判定

※受験は3科目必須。

◎2/4(水)：英語外部試験利用型 英語検定試験スコアが出願要件 本学独自の英語試験なし

※学部学科特色型との併願はできません。

英語検定試験スコアを出願要件とし、2科目で受験できる入試です。

学部	学科(専攻)	1時限目(60分)	2時限目(60分)	3時限目
文	日本文	国語 100点【必須】 現代の国語・言語文化(近代以降の文章40点、古文40点、漢文20点)	選択科目(出願時に選択) 100点【必須】 [史学科以外] 以下から択一 日本史:歴史総合・日本史探究 世界史:歴史総合・世界史探究 公民:公共、政治・経済 数学①:数学Ⅰ、数学A(図形の性質・場合の数と確率) 数学②:数学Ⅰ、数学A(図形の性質・場合の数と確率)、数学Ⅱ、数学B(数列・統計的な推測)、数学C(ベクトル) ※経済学部は、1時限目で「理科」を選択する場合、2時限目は「数学」のみ選択可能。 ※数学を選択する場合、文・神道文化・法学部は数学①、経済・観光まちづくり学部は数学②を選択。人間開発学部は数学①・数学②のいずれかを選択。 [史学科] 以下から択一 日本史:歴史総合・日本史探究 世界史:歴史総合・世界史探究	
	中国文			
	史			
	外国語文化			
	哲			
神道文化	神道文化	国語 100点【必須】 現代の国語・言語文化(近代以降の文章【必須】70点、近代以降の文章・古文・漢文【択一】30点)		
法	法律 (法律専門職 政治)			
経済	経済 経営		国語または理科 (出願時に選択) 〈国語〉 現代の国語・言語文化(近代以降の文章【必須】70点、近代以降の文章・古文・漢文【択一】30点) 〈理科〉 試験当日に以下3科目から1科目選択 ・物理(物理基礎+物理) ・化学(化学基礎+化学) ・生物(生物基礎+生物)	
人間開発	初等教育			
	健康体育			
	子ども支援			
観光まちづくり	観光まちづくり			

[出願要件] 英語検定試験で、各学部・学科において定めるCEFRレベルまたはスコア(下表参照)を満たす者。出願要件として利用可能な英語検定試験の種類およびCEFRレベルの基準については、下表において特に明記がない限り、B日程[英語検定試験の利用について](P.014)に示す一覧表に準ずる。CEFRレベル・スコアは令和5年4月以降に取得したものを有効とする。

学部	学科	CEFRレベル・スコア	判定方法
文	日本文・中国文	A2以上	・2科目(選択科目と国語)合計で判定 ・国語を2倍換算
	外国語文化	B1以上	・2科目(選択科目と国語)合計で判定
	史	A2以上	・2科目(選択科目と国語)合計で判定 ・選択科目を2倍換算
	哲	B1以上	・2科目(選択科目と国語)合計で判定 ・国語を2倍換算
神道文化		A2以上	・2科目(選択科目と国語)合計で判定
法		A2以上	・2科目(選択科目と国語)合計で判定 ・選択科目と国語のうち、成績上位の科目を2倍換算
経済		B1以上	・2科目(選択科目と国語/理科)合計で判定
人間開発		いずれか1つの条件を満たしていること。 ■実用英語技能検定(英検):【準1級】【2級】1950点以上 ■TEAP(R/L+W/S):225点以上、TEAP(CBT):420点以上 ■GTEC(検定版Advanced・CBT):930点以上	・2科目(選択科目と国語/理科)合計で判定
観光まちづくり		B1以上	・2科目(選択科目と国語/理科)合計で判定

[英語検定試験の利用について]

B日程では、「外国語」を試験科目に含むすべての学科において、英語検定試験のスコアを利用することができます。スコアを提出した場合は、その成績に応じて得点換算を行います。スコアを提出したうえで大学の外国語試験を受験した場合は、高い方の得点を合否判定に利用します。

【利用可能な検定試験および換算点】※下表は令和7年5月24日時点の情報です。令和8年度入学試験における換算点の詳細は、『2026一般選抜入学試験要項(受験ガイド)』を必ず確認してください。

CEFR※1	各検定のスコア ※3									
	本学での 換算点 ※2	実用英語技能検定 (英検) ※4	TOEIC®L&R およびS&W ※5	GTEC ※6	TEAP (R/L+W/S) ※7	TEAP CBT ※7	ケンブリッジ 英語検定 ※8	TOEFL iBT® ※9	IELTS※9 (アカデミック・モジュール)	
C2	100点						230 200	120 114	9.0 8.5	
C1	100点	3299 2600	各級CEFR 算出範囲 (2599) 1級	1390 1305	1400 1350	400 375	800	199 180	113 95	8.0 7.0
B2	90点	2599 2300	準1級 (2299) (2304)	1300 1095	1349 1180	374 309	795 600	179 160	94 72	6.5 5.5
B1	70点	2299 1950	2級 (1949) (1980)	1090 790	1179 930	308 225	595 420	159 140	71 42	5.0 4.0
A2	50点	1949 1700 (1700)	準2級 準3級 (1728)	785 385	929 680	224 135	415 235	139 120		

※ 1 各検定試験の証明書に記載される、4技能(Reading, Listening, Writing, Speaking)総合でのCEFRレベルを指します。4技能総合CEFRが判定されていない場合は、スコアの利用はできません。※ 2 外国語文化学科は換算点を2倍にして判定します。※ 3 令和5年4月以降に取得したものに限り、また、各種試験の得点は素点となります。※ 4 従来型・新方式(S-CBT, S-Interview)いずれも可。上表に示すCEFRレベルを満たしていれば、合否は問いません。ただし、取得したCSEスコアが受験級においてCEFR算出外となる場合は、スコアの利用はできません。※ 5 TOEIC®はL&RおよびS&W両試験の受験およびスコアが必須となります。また、TOEIC® IPは不可とします。※ 6 GTECは受験年度により、同一のスコアでも証明書記載のCEFRレベルが異なる場合があります。GTECの成績を利用する場合は、証明書記載のCEFRレベルにかかわらず、4技能合計スコアに基づいて得点換算を行います。なお、オフィシャルスコアのみ利用可とし、検定版はCore, Basic, Advancedいずれも可とします。※ 7 TEAPは異なる試験日のスコアを合算できません。※ 8 ケンブリッジ英語検定 4技能CBT (Linguaskill)は不可とします。※ 9 自宅受験形式は不可とします。

一般選抜入試における主体性等の評価について

一般選抜では、Web出願時に、学校内外問わず、過去3年間程度で主体的に取り組んだ活動について200～800字で入力していただきます。

入力データは合否判定には使用せず、入学後の教学上の参考資料として活用します。

詳細は、『2026一般選抜入学試験要項(受験ガイド)』で確認してください。